

4月24日、中国国務院は、2009年度を初年度とする3ヵ年の中国繊維産業調整と振興計画を発表した。

この計画では、繊維産業を、伝統的支柱産業で、国際競争力があり、内需・輸出拡大、雇用創出、農民収入増加、都市化促進などで重要な意味を持つ産業と位置づけ、繊維産業の安定的な発展を確保し、構造調整を加速させ、産業のアップグレードを推進するとしている。

具体的に実施するにあたって、この計画を、「目標」、「任務」、「政策措置」に分け取り上げている。以下はその概要である。

1. 繊維産業の現状と直面する状況

21世紀以来、中国の繊維産業は急速に発展し、原料からアパレル、家庭用繊維、産業用繊維製造まで整った産業チェーンが形成された。生産は高い成長を続け、輸出は大幅に増加、構造調整も進展し、雇用や農民の生活向上に大きく貢献している。2007年の繊維産業の工業増加値（総生産高から中間コスト等を引いて算出、中国の工業では一般的に用いられる指標）は8,126億元と全体の6.9%を占め、全国GDPの3.3%を占めた。繊維産業の製品の30%は輸出向けである。2007年の繊維輸出総額は1,756億ドル、2000年以降、年平均18.7%で成長、2.3倍に拡大した。繊維品輸出は、輸出総額の14.4%を占め、世界の繊維貿易の30%を占める。繊維製品の用途は、航空、宇宙、水利、農業、交通、医療など様々な分野に及ぶ。繊維業界全体で2,000万人を超える雇用を創出し、そのうち80%が農民工である。農業製品である綿、毛、麻、シルクなどの天然繊維を約1,000万トン使用し、1億の農民に恩恵をもたらしている。

しかし、繊維産業が急速に成長する中、累積した矛盾や問題が日々顕在化している。それは主に次のような事柄に表れている。

- 自主イノベーション力が弱く、ハイテク、機能性繊維や複合素材の開発が遅れ、高性能繊維およびその設備は主に輸入に依存している。
- 合理的な産業配置となっていない。すなわち、繊維産業の生産能力の80%が沿海地域に集中している。また、繊維品の輸出市場の50%がEU、米国、日本の3国地域に集中している。
- 省エネ・排出削減に対する責任が大きい。繊維産業のエネルギー消費、水消費、廃水は、全国の工業総エネルギー消費、水消費、廃水の4.3%、8.5%、10%を占める。
- 過去数年、生産能力を闇雲に拡大したことにより、一部業界では生産能力過剰となっている。2008年下半年以降、金融危機の影響が中国の繊維産業に及び、需給バランスが崩れ、企業経営が苦境に陥り、赤字企業が増加、雇用人数も減少したことで、中国繊維産業はこれまでにない苦境に陥っている。

こうした苦境の一方で、中国の繊維産業には、強い環境対応力があること、製品に国際競争力があること、国内市場にはまだまだ潜在力があることから、大きな発展の余地がある。中国政府は、効果的な政策・措置を採り、繊維業界は、内外の市場を安定させ、イノベーション力を高め、立ち遅れた生産設備を淘汰し、産業配置を最適化し、自主ブランドの確立を進め、繊維産業の持続的、健全な発展に貢献する必要がある。

2. 指導思想、基本原則と「目標」

（1）指導思想

17大（中国共産党第17回全国代表大会）の実施を徹底し、口小平理論と「三つの代表」理論、科学的発展観の実施によって、成長維持、内需拡大、構造調整を進め、中国繊維産業を「規模の大きさ」から「強さ」へ転換する。

（2）基本原則

海外市場の開拓を強化し、輸出シェアの基本的な安定を維持させると同時に、国内の需要拡大に努力する。

コア企業への支援強化と中小企業の発展を結びつける。コア企業の牽引力を発揮し、優良企業による合併・再編を支援し、規模拡大により、中小企業の危機対応を積極的に支援する。そして、潜在能力のある中小企業のリスク対応力を強化する。

自主イノベーションの開発、技術更新、老朽設備の淘汰を結びつける。科学技術の進歩によって牽引される重要分野を把握し、技術開発や新製品の商業生産化を進め、綿紡績、染色、化学繊維、ニットなど各業界の技術改造を進め、立ち遅れた設備の淘汰を加速させる。

市場メカニズムと政策指導を結びつける。市場原理による資源配置の効果を十分発揮させる。一方で、産業構造調整と企業管理強化を促進し、競争と淘汰を実現する。業界の安定した発展を維持し、産業構造の最適化・アップグレードを推進する。

（3）目標

2009年から2011年の3年間に、繊維産業の生産の安定成長を維持し、産業構造の更なる最適化を図り、繊維大国から繊維強国への転換へステップを現実のものとするため以下の目標を掲げる。繊維産業の発展は安定成長を維持する。2011年までに、規模以上繊維企業（国有企業＋年商500万元以上の非国有企業）の工業増加値を年平均10%の成長で1兆2,000億元とする。繊維品輸出額を年平均8%の成長で2,400億ドルとする。

繊維産業の構造を最適化する。衣料用、家庭用、産業用の三大用途の消費割合を49:32:19とする。繊維産業の中西部の生産割合を20%まで高める。影響力のあるブランド企業を約100社育成し、自主ブランド製品の輸出割合を20%に高める。

ハイテク製品の産業化や用途開発を進め、国際先進レベルの技術・設備の比率を50%まで高める。新製品の生産効率を高め、繊維業界全体の労働生産性を年平均10%高める。

省エネ・排出削減を進める。業界全体の1単位当たりのエネルギー消費を年平均5%、水消費を年平均7%、廃水量を年平均7%引下げる。

老朽設備の淘汰を進める。2011年までに、75億mの高エネルギー消費、高水消費、低技術レベルのプリント・染色能力を淘汰し、230万トンの化繊生産能力を淘汰し、綿紡績、毛紡績の非効率な設備の淘汰を加速させる。

3. 任務

（1）内外市場の安定

既存の輸出市場を安定、新市場を開拓する。WTO遵守の下、弾力的な増値税還付政策を実施し、積極的に貿易摩擦に対応する。新興市場開拓により輸出市場を多元化する。実力のある繊維企業の「走出去」（海外投資）を奨励、主要市場に工場だけでなく、物流センターや商品センターを建設することを奨励する。国際的に知名度のある国産ブランドを確立し、世界規模で生産・販売、研究開発を行い、中国の繊維産業の地位を高める。

国内の繊維製品の消費を促進する。繊維企業の新製品開発を進め、消費者の異なるニーズを満足させる。ビジネスモデルの最適化、ネット販売の加速による流通チェーンの効率化を推進する。農村市場を積極的に開拓し、農民の消費を拡大させる。

国内の産業用繊維製品の用途を拡大する。内需刺激政策の実施、関連基準や規範の整備によって、産業用繊維製品の水利、交通、建築、新エネルギー、農業、環境保護、医療分野などにおける用途開発を促進する。

（2）開発力の向上

ハイテク繊維の商業生産化と用途開発を推進する。高性能炭素繊維、アラミド繊維、PPS繊維、超高分子量ポリエチレン繊維、玄武岩繊維、新型ポリエステルなどの商業生産を加速させ、これらの生産量を現在の7万トンから14万トンまで引上げる。農作物の廃棄物、竹、早生林などの資源を利用し、生分解可能、再生可能な繊維の商業生産化を行い、溶剤法繊維素繊維で1万トン級、とうもろこし等多元アルコール繊維で1,000トン級の商業生産化を実現し、バイオ繊維の生産割合を現在の6.3%から8%に高める。

産業用繊維製品の用途開発を加速させる。水利、交通、建築、新エネルギー、農業、環境保護、医療などの分野におけるニーズを満足させる。高強度土木建築用グリッド、土木用生地、防水材などの多機能複合素材を重点的に発展させ、高級土木用布生地の国内産のシェアを20%から50%に引上げる。スパンレース、スパンボンドなど先進エンジニアリングや環境保護フィルター用繊維生地の生産、用途開発を加速させ、新素材の割合を20%から50%に引き上げる。多機能膜構造素材など軽量特殊素材の開発を支援する。風力発電、航空・宇宙向け複合素材の開発をサポートし、これらの分野の年間生産量を5,000万平方mにする。節水、灌漑、貯水、包装材料などの農業用繊維素材を開発する。手術服、隔離服、バイオ人工臓器など医療用繊維素材と製品の開発と用途開発を進める。スパンボンド、メルトブロー、スパンレース、複合不織布を普及させ、「三抗（抗微生物、抗血液、抗アルコール）」手術服、隔離服などの商業生産を進める。

設備の国産化率を高める。自主開発や海外技術の導入を通して、自主的に知的財産権を備える繊維設備の国産化を進める。国産繊維機械のシェアを現在の60%から70%に高める。伝統的な繊維機械の技術水準を高める。産業用繊維製品用の機械の開発と商業生産を進める。効率の高い、連続・短工程の省エネ排出削減可能な染色設備、資源回収技術の研究開発と用途開発を強化する。

標準体系の確立を進める。炭素繊維などの高性能繊維、生分解性繊維品、機能性繊維品、新型設備の標準を制定する。航空、宇宙、水利、農業、交通、建築、新エネルギー、環境保護、医療などの分野における繊維製品の標準や使用規準を制定する。繊維産業の資源節約・利用標準を修正し、輸出入製品の検疫検査体制を確立する。